



月刊糖尿病 別冊

糖尿病治療薬 ハンドブック

企画編集 ● 河盛隆造

順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌学 特任教授, (文科省事業) スポーツロジセンター センター長

目次

5 序文：糖尿病治療の所期目標は？ 河盛隆造

9 **I** 糖尿病治療薬としての作用機序と特性, 付加価値

10 1. α -グルコシダーゼ阻害薬 加来浩平 他

20 2. メトホルミン 益崎裕章 他

25 3. ピオグリタゾン 山内敏正 他

30 4. DPP-4 阻害薬 金藤秀明 他

42 5. グリニド薬 森 豊

52 6. SU 薬 谷澤幸生 他

59 7. GLP-1 受容体作動薬 稲垣暢也 他

69 8. インスリン 綿田裕孝 他

79 **II** どのような薬剤を partner に選ぶか, その理由は, 効果は, さらに3剤目は

80 1. α -グルコシダーゼ阻害薬 山田祐一郎 他

89 2. メトホルミン 前川 聡

99 3. ピオグリタゾン 寺内康夫 他

110 4. DPP-4 阻害薬 岩本安彦

119 5. グリニド薬 荒木栄一 他

127 6. SU 薬 佐藤 譲

136 7. GLP-1 受容体作動薬 宮川潤一郎 他

146 8. インスリン 田中 逸 他

155 **III** 糖尿病性血管障害の薬物療法

156 1. 糖尿病網膜症 柴 友明

163 2. 糖尿病性腎症 羽田勝計 他

172 3. 糖尿病性神経障害 中村二郎

179 **IV** 動脈硬化症発症阻止, 進展阻止の薬物療法

180 1. 高血圧の薬物療法 伊藤貞嘉 他

189 2. 脂質異常症の薬物療法 下村伊一郎 他

200 3. 抗血小板薬 島田 朗 他

215 索引